

# EXB-FW for M3 取扱説明書

## オプション EXB-FW (FireWire ボード)

M3 は別売の EXB-FW を装着することで、バーチャライズド・ハードウェア (Virtualized Hardware) 機能が使用できます。

バーチャライズド・ハードウェア (Virtualized Hardware) 機能は、この機能に対応するコルグのハードウェア機器のオーディオ信号と MIDI 信号を、DAW ソフトウェアなどのホスト・アプリケーション上のコルグ専用エディターを経由して、ホスト・アプリケーションのトラックなどに送るものです。コルグのハードウェア機器をプラグイン・ソフトウェア・インストールメントを使用しているかのように扱うことができます。

M3 をコンピューターに FireWire (IEEE1394) ケーブルで接続し、EXB-FW 対応版の M3 Editor/Plug-In Editor を操作することによって、バーチャライズド・ハードウェア機能が使用できます。そして、次のようなトータル・リコールなどのコントロールが行えます。


- M3 の各モード・パラメーターの MIDI によるエディット/セットアップを行う。
- M3 の 2 イン 6 アウトのデジタル・オーディオ信号を送受信する。

M3 のオーディオ信号をホスト・アプリケーションのトラックに送り、バーチャライズド・ハードウェア機能を使用します。この M3 のオーディオ信号に、プラグイン・エフェクトをかけたり、その他のオーディオ・トラックのデータなどと一緒にコントロールすることができます。

また、ホスト・アプリケーション上のオーディオ・トラックなどのオーディオ信号に M3 のエフェクトをかけることもできます。

- DAW ソフトウェアなどのホスト・アプリケーションの MIDI データを送受信する。 など

Note: 使用するアプリケーションによって、できることは異なります。

 以下は注意事項です。

- 2 つの端子は、同じ動作をします。コンピューターと接続していない端子は、デジチェーン接続用として、コンピューターで認識する FireWire デバイスを接続して使用することができます (M3 では認識しません)。M3 の電源がオフの状態では、接続しているコンピューターからデジチェーン接続した FireWire デバイスを認識することはできません。
- EXB-FW はバスパワー供給を行いません。
- EXB-FW に 2 台のコンピューターを同時に接続しないでください。
- EXB-FW に 2 台の M3 を同時に接続しないでください。
- コンピューターから FireWire (IEEE1394) ポートを経由して M3 に送られる MIDI データは、M3 の MIDI OUT 端子から出力しません。
- M3 Editor/Plug-In Editor を EXB-FW で使用するときは、必ず KORG EXB-FW Audio/MIDI ドライバをインストールして使用してください。
- 各入出力デバイスは、同時に 1 つのソフトウェアからのみ使用できます。マルチクライアントには対応していません。
- DAW ソフトウェアなどのホスト・アプリケーション上で、オーディオと MIDI デバイスの設定を行う必要があります。

お使いになるソフトウェアの取扱説明書を参照してください。

EXB-FW については、EXB-FW に付属された取扱説明書をご覧ください。

## EXB-FW パラメーター

EXB-FW を装着すると、M3 の以下のパラメーターが使用可能になります。詳しいパラメーターの説明は M3 パラメーター・ガイドの各ページをご覧ください。

### Program モード

- Prog P0: Play– Sampling/Audio In  
“Input” (☞p.9)  
“Source Bus” (☞p.10)  
メニュー・コマンド “Auto Sampling Setup” REC Audio Input (☞p.110)
- Prog P0: Play– Control Surface, Mixer Input  
“Audio Play/Mute”, “Audio Solo”, “Audio Volume” (☞p.16)

### Combination モード

- Combi P0: Play– Sampling/Audio In  
“Input” (☞p.128)  
“Source Bus” (☞p.128)  
メニュー・コマンド “Auto Sampling Setup” REC Audio Input (☞p.110)
- Combi P0: Play– Control Surface, Mixer Input  
“Audio Play/Mute”, “Audio Solo”, “Audio Volume” (☞p.132)

### Sequencer モード

- Seq P0-1: Play/REC– Sampling/Audio In  
“Input” (☞p.202)  
“Source Bus” (☞p.202)  
メニュー・コマンド “Auto Sampling Setup” In-Track Sampling (☞p.278)
- Seq P0: Play– Control Surface, Mixer Input  
“Audio Play/Mute”, “Audio Solo”, “Audio Volume” (☞p.209)

### Sampling モード

- Sampling P0: Recording– Audio In/Setup  
“Input” (☞p.305)  
“Source Bus” (☞p.306)  
メニュー・コマンド “Auto Sampling Setup” REC Audio Input (☞p.336)
- Sampling P0: Recording– Control Surface, Mixer Input  
“Audio Play/Mute”, “Audio Solo”, “Audio Volume” (☞p.311)

### Global モード

- Global P0: Basic Setup– Audio  
“Input” (☞p.360)

- GlobalP1: MIDI- MIDI Basic  
“MIDI Clock” (※p.364)

**Media モード**

- Media- Play Audio CD  
“Input” (※p.397)

**EXB-FW 装着時の M3 とコンピューターとの接続例**

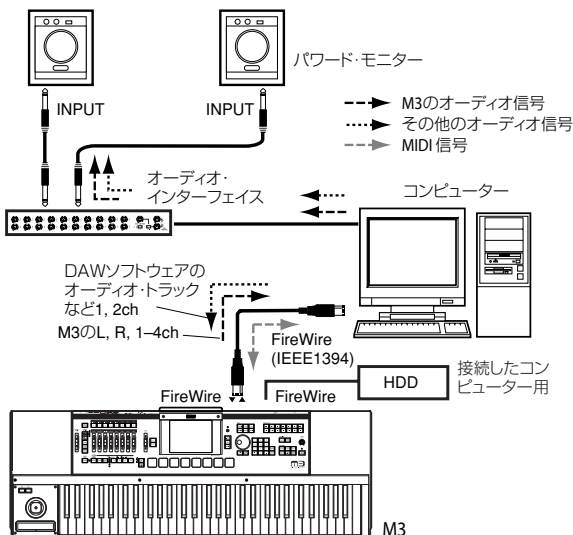
- オプション EXB-FW を M3 に装着する方法は、「EXB-FW の取り付け方」(※OG p.199) を参照してください。
- M3 Editor/Plug-In Editor と KORG EXB-FW Audio/MIDI ドライバのインストール方法は、「ソフトウェアのインストール」(※OG p.33) を参照してください。

以下は、EXB-FW 装着時の M3 でバーチャライズド・ハードウェア機能を使用するための接続例です。

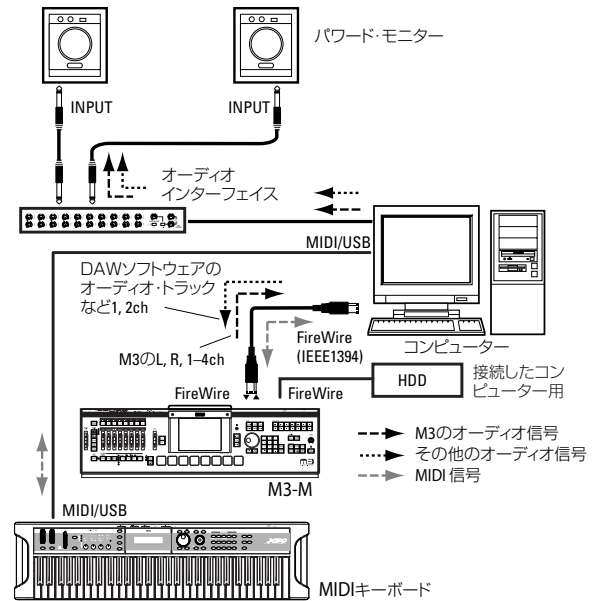
詳しくは EXB-FW 対応版の「M3 Editor/Plug-In Editor 取扱説明書」(PDF)、使用するアプリケーションの取扱説明書をご覧ください。

1. M3 の FireWire 端子とコンピューターの FireWire (IEEE 1394)ポートをFireWire(IEEE1394)ケーブルで接続します。
2. M3 の Global モードで、必要な各設定を行います。  
「M3 の Global モードでの各設定」(※OG p.31) を参照してください。
3. コンピューター側で必要な設定をします。  
ご使用になる DAW ソフトウェアなどのホスト・アプリケーションに合わせて設定してください。設定方法はソフトウェアの取扱説明書を参照してください。なお、ホスト・アプリケーション上でのセットアップ例については、「M3 Editor/Plug-In Editor 取扱説明書」(PDF) を参照してください。

**M3-61/73/88 の接続 (M3 Plug-In Editor の場合)**



**M3-M の接続 (M3 Plug-In Editor の場合)**

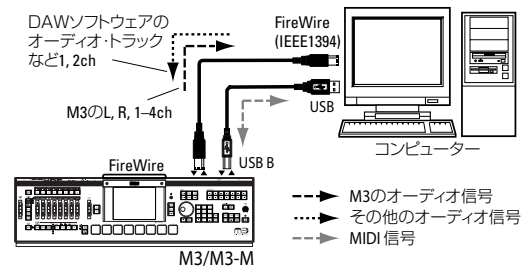


**FW-MIDI のボーレート**

FW-MIDI (FireWire ケーブルを通した MIDI 接続) のボーレートは、通常の MIDI ケーブルを使用した場合と同じ 31.25kBps です。M3 が扱うダンプ・データのサイズは大きいため、FW-MIDI を利用してデータ・ダンプを行うとき、特にオール・ダンプを実行したときなどには、転送に長い時間を要します。FW-MIDI を使用するときには、Total Recall & Data Sync Settings の設定を最小限にすることをお奨めします。(※「M3 Editor/M3 Plug-In Editor 取扱説明書」PDF の Software Setup 参照)

また、USB MIDI を併用することで、USB 2.0 の高速通信が可能になります。(※「M3 Editor/M3 Plug-In Editor 取扱説明書」PDF の Software Setup/MIDI Settings)

**FW Audio と USB MIDI を併用した接続**



**仕様**

**M3 での EXB-FW 仕様**

- オーディオ:
- サンプル・レゾリューション 24 ビット
  - サンプリング周波数 48kHz (固定)
  - 入出力チャンネル数 2 イン 6 アウト
- MIDI:
- 入出力ポート数 1 イン 1 アウト

\* 仕様および外観は、改良のため予告なく変更する場合があります。